

「防災訓練・防災フェスタ」～地域の力を一つに～企画案（20170817 東大和南公園サービスセンター）

企画主旨と背景

- ・都立の防災公園として、東大和南公園の持つ発災時における広域避難場所、大規模救出救助力
- ・自助、共助の重要性を伝えるとともに、市、消防、警察、自衛隊の防災への取組み「公助」を
- ・発災時の避難場所の運営について、様々な角度から検証する。
- ・地域住民に、自治体や関係機関からの救援対策「物資・情報」を届けるための連携も視野に

目的

- ・地域連携による防災訓練の充実と地域住民等への防災意識と公園の防災機能の普及啓発。
- ・公園における共助と公助の連携による、災害時要配慮者等の対策を含む防災意識の向上。

近隣住民参加型「防災訓練」

- 日時 平成 29 年 11 月 11 日（土） 9:00～11:00
- 場所 東大和南公園運動広場
- 参加者 公園協会職員、市役所職員、近隣住民（計 100 名想定）
- 発災想定 ○月○日午前 8 時 30 分、立川断層を震源とする震度 6 強の本震があり、近隣住民が 東大和南公園に一時避難場所から避難 東大和市が避難所を開設するが、余震が続く中、多数の避難者が公園内に滞在

- 進行 9:00 挨拶

1) 点呼訓練（自治会、公園協会）

9:10 集合・点呼訓練 自治会単位で地域の避難者を点呼確認

2) 情報伝達訓練（公園協会、東大和市）

9:20 無線機訓練 防災無線を使用し、市と公園で状況を連絡
情報内容

- ・避難者状況 公園⇒東大和市
- ・避難所開設状況 東大和市⇒公園
- ・道路等交通状況 東大和市⇒公園
- ・食糧等救援物資 公園⇒東大和市
- ・情報掲示訓練 取得した情報の掲示



無線機訓練

3) 防災施設確認訓練（自治会・東大和市・公園協会）

9:30 防災トイレ組立訓練

乳幼児、高齢者、外国人対応訓練（簡易オムツ作製訓練、外国人対応訓練）

4) 応急救護訓練（自治会・消防署）

9:45 応急救護訓練（毛布担架、AED）

5) 炊出し訓練（自治会・公園協会）

10:15 炊出し訓練 仮設カマドを使用して非常食の炊出し

11:00 終了 挨拶→防災フェスタへ移行



防災トイレ組立訓練

一)

助活動拠点の地域住民に普及啓発する。

を地域住民に普及啓発する。

これ、市民参加型「防災訓練」と「防災フェスタ」を開催する。

期待される成果

- ・公園と自治体、関係機関、近隣住民の連携により発災時の対応が公園ができる。
- ・自助、共助を体験することで、地域住民等と連携した要配慮者対応ができる。

防災イベント「防災フェスタ」

- 日時 平成 29 年 11 月 11 日（土）11:00～13:00
- 場所 東大和南公園運動広場
- 参加者 近隣住民、来園者（計 200 名）
- 協力 東大和市、自治会、消防署、警察署、消防団、自衛隊、S & F プラン
- 内容
 - 1) 自助
 - ①水消火器、煙、起震車、非常持出袋重さ体験
 - 2) 共助
 - ①防災施設紹介・防災トイレ組立
 - ②防災ワークショップ（紙食器、防災灯り、簡易オムツ）
 - ③防災ゲーム（持出品なあに他）
 - ④応急救護（A E D、三角巾、毛布担架など）体験
 - ⑤炊出し体験
 - ⑥外国語コミュニケーションシート
 - 3) 公助
 - ①東大和南公園、消防署、警察署、消防団、自衛隊活動 P R ブース
 - ②東大和市防災ブース、自治会展示ブース
 - 4) その他
 - ①スタンプラリー



起震車体験



水消火器訓練



防災ワークショップ



炊出し体験



煙体験

平成29年9月9日
東大和南公園サービスセンター



①薪置き場



②小枝の薪



③ロケットストーブ



④小枝を燃やした状況



⑤展示パネル用ボード